◆基礎領域研究

英文日本歴史研究書講読（継続）

代表者　牛村 圭

概　要　達意の英語で書かれた日本史研究書を素材に、英文を正しく読み、自然な日本語にする手法の修得を目指す。

中世文学講読（継続）

代表者　荒木 浩

概　要　日本中世文学の文献を、影印を参照し、英訳などとも対比しながら精読するとともに、最新の研究動向などについての発表や情報交換の場としても活用する。

韓国語の運用（基礎・応用）（継続）

代表者　松田 利彦

概　要　業務や研究で韓国語を必要とする職員・大学院生等を対象に韓国語の会話・作文・読解の習得を目指した授業を行う。基本的に昨年度からの受講生を対象としているが、ある程度学習歴のある方の新規受講も歓迎する（要相談）。

古記録学基礎研究（継続）

代表者　倉本 一宏

概　要　日本前近代の根幹的史料である古記録の解読を、原本や写本の見方・扱い方も含めて考えていく。当面、源経頼の『左経記』を読む。

フランス語の運用（基礎）（新規）

代表者　松木 裕美

概　要　初心者を対象として、初歩の運用能力を実践的に身に付ける。

フランス語の運用（応用）（新規）

代表者　松木 裕美

概　要　フランス語の文献の読解と、フランス語での口頭発表や論文作成能力向上を目的とした練習を行う。

文学・文化史理論入門（継続）

代表者　坪井 秀人

概　要　文学および文化史に関する基礎的な理論を学びながらテクストの読解・分析の実践的方法を修得する。

近現代史史料文献研究（継続）

代表者　瀧井 一博

概　要　日本近現代史の基礎史料と古典的および先端的な文献を講読し、社会科学的な歴史研究の方法と実践を討究する。

中国古典学の基礎（継続）

代表者　伊東 貴之

概　要　経書を中心とするオーソドックスな中国古典語の文献を中国音と訓読とを併用して読解する技法を涵養する。併せて中国古典学や儒教入門のための道案内とする。

近代宗教思想史基礎論（継続）

代表者　磯前 順一

概　要　井上哲次郎をめぐる基礎資料を講読するとともにその背景をなす理論的な文献の読書を縦横無尽に行う。（備考：前年度までの「宗教学基礎論」からの継続）

日本政治外交史文献・史料講読（新規）

代表者　楠 綾子

概　要　日本政治外交史に関する最新の研究動向を探り、外交史研究のありかたを考えるために、内外の最先端の研究や歴史史料を読む。